

日吉台地下壕保存の会

会報



地下壕の作戦室で作戦会議を再現（1983NHK）
 左が長官（西村晃氏）、中（中島親孝氏）と
 右（伊東三郎氏）が参謀

このように戦争を見るにつけ、私達の運動が、ますます必要であることが痛感させられます。会員も三一八名となり、活動も徐々に広がりを見せ、港北区では1991年度の事業計画の中に地下壕の事も入っており、少しづつ前進をしています。保存・公開にむけて、これからも息長く続け、大きく輪を広げて行かなければなりません。第3回総会には、「松代大本営」のビデオ上映と「謀略秘密基地・登戸研究所の謎を追う」のテーマで記念講演を企画しました。多數の方々の御参加で総会を成功させたいと思っています。宜しくお願ひ致します。

第10号

発行 日吉台地下壕保存の会

編集 事務局

〒223

横浜市港北区下田町3-15-27

TEL 045-562-1282 (寺田貞治)

目次
 頁
 ○第3回総会を迎えるに 1
 ○当たって 2
 ○お知らせ 第3回総会 2
 ○お願い 2
 ○第7回幹事会報告 3
 ○地下壕を見学して 3
 ○「平和への願いをこめて」 4
 ○読後感想文 4
 ○本の紹介「地下工場と 4
 朝鮮人強制連行」 4
 ○関連図書紹介 5
 ○編集後記 6

第三回総会を迎えることになりました。この間、世界は東西の冷戦が終わり、ベルリンの壁もなくなり、平和がやつてくるかにみえ、世界中の人々が期待をふくらませていた矢先、この期待をあざ笑うかのように、湾岸戦争が起こりました。戦争は終わりましたが、この戦争はいったい私たち人間に何をもたらしたのでしょうか。20万人とも言われる人々が死にました。前線で戦い傷つき死んだ人の多くは、貧しい人達でした。イラクでは、まだ内戦が続ぎ、水・食料・医薬品が不足し、毎日多くの人が死んでいくと言われます。またクエートでは六〇〇本もの油井が破壊されて炎上し大気が汚染され、ペルシャ湾では流出した原油で海が汚染され、環境破壊が深刻です。戦争は、最大の資源のムダ使いであり、環境破壊の最たるものでしかありません。

事務局長 寺田貞治

第三回総会を迎えるに
 当たつて



「お知らせ」

③一九九〇年度会計監査
報告

④①②③の報告について

質疑応答及び承認

⑤一九九一年度運営委員
・会計監査・顧問の選

出と承認

⑥一九九一年度活動方針
案説明

⑦一九九一年度予算案
説明

⑧⑨⑩の案について

質疑応答及び承認

⑪新会長挨拶

⑫アッピールの採択と

承認

⑬その他

⑭議長解任

⑮閉会の辞

⑯登戸研究所の謎を追う

⑰記念講演

⑲「謀略秘密基地」

⑳「謀略秘密基地」

㉑「謀略秘密基地」

㉒「謀略秘密基地」

㉓「謀略秘密基地」

㉔「謀略秘密基地」

㉕「謀略秘密基地」

㉖「謀略秘密基地」

㉗「謀略秘密基地」

㉘「謀略秘密基地」

㉙「謀略秘密基地」

㉚「謀略秘密基地」

㉛「謀略秘密基地」

㉜「謀略秘密基地」

㉝「謀略秘密基地」

㉞「謀略秘密基地」

㉟「謀略秘密基地」

第二回 総会

○日時

四月二〇日 (土)
午後2時より

(受付は午後1時50分より)

○場所

慶應大学日吉キャンパス

藤山記念館大会議室

○△△次第

一、ビデオ

「松代大本営」の上映

*午後2時～5時半

○総会

*午後2時40分～
3時40分

○開会の辞

1、開会の辞

2、会長挨拶

3、議長選出

4、議事

①一九九〇年度活動報告
②一九九〇年度会計報告

渡辺賢二氏

*午後3時40分～5時

○お願い

総会には、多数の方々の御
参加をお願い致します。

ビデオ「松代大本営」とは
広島・長崎・沖縄・・・
そして、ここ長野県松代にも
残る、戦争の傷跡。

おおい隠された歴史的事実を
明らかにし、松代の持つ意味
を問う。

大本営とは？

地下壕13キロは誰が掘り
抜いたか？

強制連行にたずさわった人、
強制労働をさせられた朝鮮人
など、衝撃の証言が・・・
「謀略秘密基地」

登戸研究所とは

第二次大戦中、「風船爆弾」
や細菌・化学兵器、偽札造り
など旧日本軍の謀略戦を研究
したとされる「陸軍第九技術
研究所」であった。

その全容はまだ不明な点が
多く、細菌戦部隊として知ら
れる七三一部隊との関係も指
摘されている。この研究所に
どんな驚くべき事実が隠され
ているのだろうか・・・

第7回幹事会事△会報出
日時 2月20日午後5時半
場所 藤山記念館中会議室
報告事項

1. 会員数より
(2月19日現在)
団体会員1組
賛助会員4名
2. 1月24日：会報第9号
発行。
3. 1月27日：幸市ヶ谷集
会所で、小園さんと一緒に
李さんと兵庫県で朝鮮人問
題に取り組んでいる洪さん
と会って話を聞いた。
4. 1月30日：区政推進課
の川久保さんにあって、区
や市の今後の地下壕の保存
についての対応を聞く。話
によると、区では出来たと
しても記録の保存ぐらいで
ある。地下壕を保存するか
どうかの調査までするとな
ると、予算的にみて市の事
業となるが、今のところ当
分無理ではないかと思う、
との事であった。
やはり、これ以上は世論
の力で、市に働きかけをす

る以外に手はなさそうであ
ると感じた。先ず、保存会
として市長に陳情する。次
に市長と市議会議長宛の請
願書を作り、署名運動をす
る。署名簿と共に請願書を
市長と市議会議長に提出す
る。また、港北区選出の市
議員に超党派で支援して
頂くように働きかける。
目的達成までには、かな
り長い期間運動を続けなけ
ればならないが、戦後50
年目を目標にして運動を盛
り上げていったらどうかと
思う。

5. 2月12日：区の社会教
育課の広木氏と総務局の
中谷氏に会い、区主催の日
吉周辺の史跡めぐりの一環
として、地下壕の見学をし
たいという事で話し合った。
3月19日（火）に下見、
4月14日（日）に実施。
6. 2月15日：足立氏宅に
地主の方より、先生に「地
主さんに頼んで地下壕に入
つて、その感想文を書いて
くるように」言われたとい

つて、小学生が10人ほど
来たので断わって返したが、
こんな事が度重なるようでは
は、今後入るのを全面的に
お断りすると強く言われた。

7. 3月9日：日吉台小学校
PTAと教職員約30名が
地下壕を見学予定。
1. 第3回総会について
1) 日時：4月20日
午後2時～2時半
日吉台地下壕や松代の
地下壕を見せる
2. 講演
午後2時40分～
3時40分～総会
午後3時40分～
5時～
3. 総会の進め方
2) 役員の候補者の人選
3) 議題について
4. パンフレットの発行
5. 会報第9号について
6. 会報第10号の発行
7. 次回運営委員会
4月10日5時半



○出する件
○港北区選出の区議員に
働きかける件
○総会アピールの採択
○その他
見学会：日吉台地下壕
又は他の地下壕の見学会
について
○地下壕の保存について
○地下壕の保存と公開にむ
けて署名活動を実施し、
市長と市議会議長に対し
て、署名簿と請願書を提

地下壕を

日記学して

島本 広海

3月9日(土)には、聯合

艦隊司令部跡などを見学させて下さいまして有難うございました。

寺田先生がよく調査され、またいろいろと御努力下さって、保存の事業に大きな足跡を刻んでおられるこ

とに對し、感銘を深く致しました。旧海軍関係者として深く御礼申し上げる次第です。

私は、昔の海軍兵学校七三期生で、レイテ海戦の時は海軍少尉、昭和一九年一〇月二四日栗田艦隊に従軍してフィリピンのシヅヤン海を東進した時のことを思い出しました。余りの空襲の激しさを避ける為と、敵の目をくらます為に、一時、西の方に避退の報告と了承を求める為に豊田聯合艦隊司令部に上申した栗田中将宛の電報に対し、豊田司令部は「天佑を確信し、全軍突撃せよ」という非常ともいえる厳しい内容の電報を送つてきました。

あの時の情景を思い浮かべ



ながら、司令部跡を見学させて貰いました。栗田艦隊も豊田司令部も必死でした。当時の海軍の覚悟が滲み出でていた

場面でした。そのような場面が記憶に鮮明に残つておりますので、壕の中を眼を皿のようにして眺め廻しました。

是非とも歴史の大重要な記録として保存し、広く後世の人々が見学できるように残してやりたいものと思います。

寺田先生始め、関係者の皆様方の御努力に対しまして、厚く厚く御礼申し上げます。

△読後感想文

「平和への願いをこめて」

(慶應義塾生協発行

二〇〇円)

△本の紹介

「地下工場と朝鮮人強制連行」

(兵庫県朝鮮関係研究会編・明石書店刊)

二〇六〇円)

朝鮮と日本との関係、特に

戦時下的朝鮮人と日本人(日本政府)との歴史を知れば知るほど、胸がふさがれて、私はまともに朝鮮の友人の前に立たなくなる。

日吉の地下壕に入り、真っ暗闇の中で建設犠牲者への冥福を祈った瞬間、しじまの中から彼らの声にならない叫びが迫つてくるようで、いたたまれない気持ちに駆られた。

そんな折、この本の出版を知った。先ず驚いたのは、戦後三〇年も経つてから、やつと調査した建設省の発表によ

ると、全国に残っていた地下トンネルの数は、既に崩壊してしまったものや、埋め戻されてしまったものを除いても、三三九四箇所もあり、そのうち神奈川県内に一二九六箇所ざつと三分の一強が残つてゐるということだった。

日本橋久松町で昭和二〇年三月一〇日東京大空襲に合い命からがら火の輪の中を逃げた者として忘れる事のない思ひですが、現代の人達には絶対わからない事と口を閉じていましたが、やはり二度と戦争を起こさない為には、体験者が語り継いで行かなければと思いました。日吉の地下の事などはつきり記録されていて、非常に興味深く拝読させて頂きました。

もつともつと若い人達に知つて頂けるよう、益々のご活躍を心から祈ります。

賀田ひろ子

地下トンネルの建設は、國內では、一九四四年七月一八日、東条内閣の最後の閣議で決定されたという。サイパン・テニアン・グアムを奪われ、本土への爆撃が決定的になつた時期である。建設開始は、私たち足手まといとなる子供たち（私はその該当者だった）を地方に追いやる（集団疎開させる）時期とも重なつてゐる。

天皇の住居（御座所と称された）を含む松代の大本營工事も、二二日吉の海軍司令部も同時期に着工された。陸・海軍ばかりでなく、工場（主として航空機生産の）疎開による地下工場の建設が、全国各地で一齊に始まつた。

既に戦争は敗退を重ね、老練兵まで戦場に駆り出される状況の中、軍の命令によるトンネル掘りは、民間の建設業者の労務員のほかに、動員された学徒や連行されてきた朝鮮人に頼らざるを得なかつた。しかも短時日での完成を要求される工事は、危険が

満ち満ちていたが、その最前线をになつてゐたのは、どの現場でも朝鮮人だつた。またもな食事も与えられない（日吉周辺の聞き書きでも、ボロをまとつた朝鮮人が、農家にそつと食べ物を乞いに来たという）中での、命がけの労働は、筆舌を尽くしがたいものがあつた。調査を進める過程で、四二年ぶりに初めて入つた、兵庫県六甲山系の東側、芦屋に近い甲陽園山王町の地下トンネルの壁に、敗戦の日本に刻まれたのである、「朝鮮国独立」の文字を発見した時、人々は思わず息をのんだという。私にとつても胸突かれる記録であつた。

本の内容は、1概説、2現地調査の記録、3資料の三部構成になつてゐるが、私たちがこれから日吉の地下壕の掘りおこしをしていく上でも参考になる部分がたくさんある。

神奈川県内には、おびただしい数のトンネルが散在して

近頃やつと日吉の地下壕が少しずつ陽の目を見せてきた他は、ほとんど手つかずのまま、放置されているのではなかろうか。

川崎の市民達が調べあげた

「私の街から戦争が見えた」
謀略秘密基地・登り戸研究所の謎を追う」（川崎市中原

平和学級編・教育資料出版会

編・一三三九円）に見習つて

身近な所から、戦争の傷跡を

探し出し、戦争の愚かさを知る手がかりにすることは、とても大事なことだと思う。最後に、極最近出版された本で、

八王子の旧陸軍巨大地下壕の謎に迫る「地下秘密工場」

（齊藤勉著・のんぶる舍刊・一五〇〇円）という調査記録も併せて紹介しておきたい。

小園優子

△関連図書紹介△

「旭高の教育」あゆみ-2632

「松代大本營地下壕に国際平和公園・平和記念館を」

（全国高等学校文芸コンクールで優秀賞に輝く）

「長野県・篠の井旭高校の謎を追う」（川崎市中原

「部報」比企-第5号」

「幻の地下司令部」

「埼玉県立滑川高校郷土部（ピータム）」

「地下軍需工場建設と朝鮮人強制連行の記録」

「名古屋市・本橋正男」

「第一回朝鮮人・中国人強制連行・強制労働を考える」

（全国交流集会実行委員会

「全国交流集会実行委員会」

「図録・松代大本營」

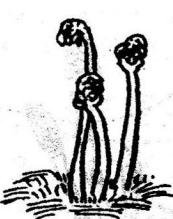
「幻の大本營の秘密を探る」

長野県・和田昇編著

「平和のために」3

（学び、調べ、表現する）

東京都・森田俊男編著



「マツシロへの旅」

「松代大本營」

ガイドブック

長野市・松代大本營の
保存をすすめる会

「兵庫と朝鮮人」

「祖国解放四〇周年を

記念して

兵庫朝鮮人関係研究会編著

「沖縄」

「旧海軍司令部壕の軌跡」

沖縄・宮里一夫編著

「戦中叢書」

大本營

海軍部・連合艦隊(6)(7)

防衛厅防衛研究所戦史室著

「連合艦隊の最後」

伊藤正徳著

文芸春秋新社

「連合艦隊作戦室から」

みた太平洋戦争

中島親孝著

光文社

「海軍を斬る」

「帝国海軍の内なる敗因」

「日米情報戦記」

「日米情報戦争実践記録」

実松 謙著

図書出版社

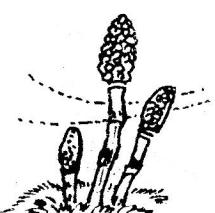
「海軍施設系技術官の記録」

・記録刊行委員会

昌平堂印刷

「慶應義塾百年史(中巻)」

慶應義塾



姫編集後記

記録

◆保存の会の結成から早くも1年がたち、会報も第10号になりました。

これも会員の皆さんのお暖かい御支援のおかけです。原稿も毎回多くの方々から頂きました。

◆これからも、地下壕の事だけでなく、戦争の体験、或は湾岸戦争についての感想など、お寄せ頂ければと存ります。

◆会員も徐々に増え現在三一八名となりました。

◆この会の存在が人々に広くしられ、関心を持つ人々も多くなりました。

◆私達の運動が、大きく広がっていく事を願いながら、会報の原稿をワープロで打ち、印刷・発送をしております。

◆お願い! 転居の時には必ず新住所と電話番号をお知らせ下さい。

第三回 総会△△

△△の△お△説△い△

日時 四月二〇日午後二時より

場所 藤山記念館大会議室

総会には、ビデオ上映と

記念講演があります。

○ビデオ(二時~二時半)
「松代大本營」

○○総会(二時四〇分~三時四〇分)
○記念講演(三時四〇分~五時)

「諜探、密密基地」
「越後戸研研究所の謎を追う」

この機会をお見のがしなく

日吉台地下壕保存の会

第3回総会

日時：4月20日（土）午後2：40～3：40

場所：慶應義塾大学藤山記念館大会議室

付記：総会の前後にビティオ上映と記念講演があります。
御期待下さい。多数の御参加を御待ちしています。

◎ビティオ上映（午後2：00～2：30）

幻の大本営の謎をカメラが追う！

「松代大本営」

広島・長崎・沖縄…そして、ここ長野県松代にも残る、
戦争の傷跡。おおい隠された歴史的事実を明らかにし、
マツシロの持つ意味を問う。

大本営とは？

13キロにわたる地下壕は誰が掘り抜いたか？

強制連行にたずさわった人、強制労働をさせられた朝鮮人
など、衝撃の証言が-----。

◎記念講演（午後3：40～5：00）

講師：法政2高教諭渡辺賢二氏

私の街から戦争が見えた！

「謀略秘密基地

登戸研究所の謎を追う」

第2次大戦中、風船爆弾や細菌・化学兵器、偽札造りなど
旧日本軍の謀略戦をしたとされる「陸軍第9技術研究所」
(通称・登戸研究所)の実相に迫る。

渡辺氏は、登戸研究所の研究家でよく知られた方です。